

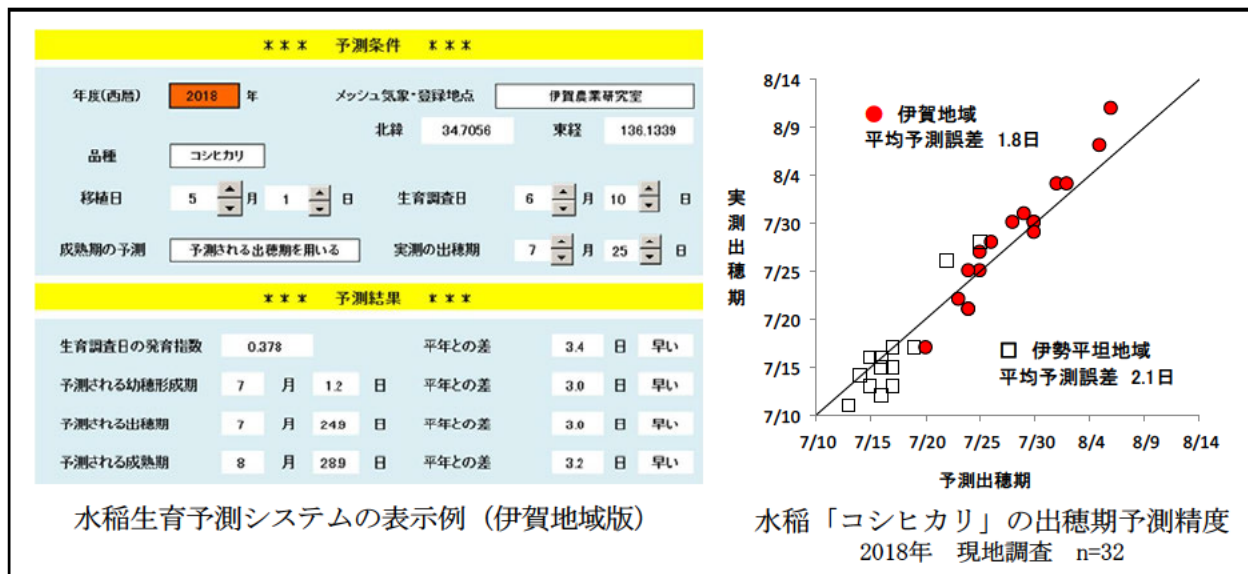
メッシュ農業気象データを用いた水稻・麦の生育予測システム

利用対象：水稻・麦の生産振興に関わる三重県行政組織

○(国法)農研機構が運用するメッシュ農業気象データシステムを利用した水稻及び麦の生育予測システムを作成しました。県内の任意地点において出穂期や成熟期等の生育ステージを予測でき、得られた予測結果は生産支援の参考情報として活用できます。

(特徴)

- ①緯度・経度を入力することで、県内任意地点において主要な水稻及び麦品種の生育ステージを予測できます。
- ②水稻は移植日、麦は播種日を入力すると、幼穂形成期、出穂期、成熟期等の予測日と平年との差(早晚)が表示されます。
- ③メッシュ農業気象データには予測日以降の気温に気象予報が反映されることから、従来の予測システムより予測精度は向上します。出穂期予測の誤差は、水稻「コシヒカリ」で約2日、小麦「あやひかり」で約3日です。



(利用に当たっての留意点)

- 本生育予測システムは表計算ソフト「Microsoft Excel」上で稼働します。
- メッシュ農業気象データは、全国のアメダスデータから空間補完して作成され、確定値(過去)、予測値(当日から26日先まで)、平年値(27日先以降)がシームレスに接続されたデータとして約1km×1km区画で提供されます。
- メッシュ農業気象データシステムの利用にあたっては、(国法)農研機構への利用申請が必要です (<https://amu.rd.naro.go.jp/>)。

お問い合わせ先	伊賀農業研究室 中央農業改良普及センター	中山幸則 磯山繁幸	電話 0595-37-0211 電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm 水稻・麦生育予測システム利用マニュアル		